

学校目標：自ら未来を切り拓くことのできる知力、活力の育成



千代田



HP へのアクセ
スはこちらから

千代田中学校ホームページ

<http://www.yotsukaido.ed.jp/gakko/home/14chiyoda/top.html>

実りの2学期を迎えて～「本気」が拓く未来～

中嶋宣雅

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

夏季休業中には大きな事故もなく、子どもたちが元気に過ごせたことを大変嬉しく思っております。一方で、この夏には熊本地震をはじめ、千葉県内を襲った激しい豪雨など、各地で自然災害が相次ぎました。被災された皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を深くお祈り申し上げます。

毎年、夏になると、甲子園での高校球児たちの懸命なプレーが私たちの胸を強く打ちます。今年は被災地からの出場となった熊本の有明高校や、千葉県代表として粘り強く戦い抜いた拓大紅陵高校をはじめ、球児たちが白球を追う姿には多くの感動がありました。両校の地元では被災状況により、現地へ応援に駆けつけることができなかつた方々も数多くいらっしゃいました。しかし、スタンドに行けなくとも避難所やテレビの前で祈るように画面を見つめる人々に、選手たちは「最後まで諦めないプレー」で勇気と希望を届けました。誰かのために、そして支えてくれたすべての人々のために「本気」で一球に向き合う姿は、応援する人々の心を確かに動かしたのです。

さて、いよいよ来週から2学期がスタートします。始業式の翌日には定期テストも実施されます。生徒のみなさんは、まさしく今、テスト勉強に真剣に取り組んでいることと思います。また、2学期には合唱祭といった大きな行事、そして3年生にとっては進路選択という大切な節目を迎える、まさに年間で最も充実した「実りの時期」です。

2学期の始まりにあたり、1学期の始業式に皆さんへ伝えた「本気になれば人生が変わる」という言葉を、改めて贈ります。

「本気」になるとは、ただ一生懸命にやるということだけではありません。「絶対にやり遂げる」「自分を超えていく」という強い決意を持ち、行動を起こすことです。甲子園で感動を与えた選手たちのように、勉強でも、部活動でも、行事の準備でも構いません。何か一つ、「これだけは本気で取り組む」という目標を決めてみてください。本気で取り組んだ分だけ、うまくいったときの喜びは大きくなり、仮に壁にぶつかったとしても、それは皆さんを大きく成長させる糧となります。そしてその積み重ねが、自分自身の未来や人生を大きく変えていくのです。

生徒の皆さんがそれぞれの場所で「本気」の輝きを見せてくれることを、教職員一同、全力で応援し、支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今学期も本校の教育活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<大切な命ウィーク>

四街道市の「大切な命ウィーク」（7月1日～17日）に合わせ、千代田中学校でも各学年の道德の授業で「命」について考える学習を行いました。生徒たちは、自他の命の尊さや人とのつながりの大切さについて意見を交流し、命のかけがえのなさや思いやりの心について理解を深めました。また、自分自身を大切にすることや、周囲の人への感謝の気持ちをもつことの大切さについても考えを深めることができました。今後も本校では、命を大切にし、互いを尊重する心を育む教育活動を進め、生徒一人一人が安心して充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。

<3-1> <3-2> <3-3> <3-4> <3-5>



3年生では、「家族の思いと意思表示カード」を活用し、臓器提供に対するさまざまな考え方に触れながら、「命を大切にする」とは何かについて考えました。多様な価値観を認め合い、命の尊さについて学ぶことができました。

【授業後の生徒のきづき】

私は脳死した場合でも臓器提供をしたいと思う。いつかは誰でも死んでしまうから、もし脳死状態でも、その臓器で人が助かるなら提供したい。命について考えることができた。

「命は継がれていく」と歌詞に書いてあって、臓器を提供することによって、その人は長生きできるから、それがどんどんつながっていくと思った。

いのちの歌の歌詞の「本当に大事なものは、隠れて見えない」にとっても共感した。家族や友達といられる時間や当たり前に過ごせている日常を大切にしたい。

< 2 - 1 >

< 2 - 2 >

< 2 - 3 >

< 2 - 4 >



2年生では、「妹に」を教材として、「私」や家族の言動に込められた思いについて考えました。命のかけがえのなさや、生きていることの喜びについて考え、理解を深めました。その後、「いつか終わりが来るいのち」「ずっとつながっているいのち」「今ここにある私のいのち」について考えました。

【授業後の生徒の気づき】

命はいつか終わりが来るけど、1日1日を生きることが大切だと感じた。友達や先生と会えていることも生きていたからできたことだから、他の人の命も大切にしたい。

人はいつ人生が終わるのかわからないから後悔をしないように、今を一生懸命生きていきたいです。今、一緒に勉強している友達は、偶然が重なって出会っているから、友達を大切にしたいです。

生きていく中で楽しい生活ができるのはあたりまえじゃないし、苦しくなる日もあると思うけど、今生きているのは家族や友達のおかげだからこの環境に感謝し、いのちを大切に生きていきたい。

< 1 - 1 >

< 1 - 2 >

< 1 - 3 >

< 1 - 4 >

< 1 - 5 >



1年生では、「夕暮れ時の避難」を教材として、自然災害から命を守るために大切な行動について考えました。災害時に自ら判断して行動することの重要性や、命の尊さについて学びました。

【授業後の生徒の気づき】

どんな命でも大切だから自分ができる最大のことをやってみることが大切だと思った。

もし、このような感じで避難をするしかないのかの二択で分かれたら、その場に合わせた安全な方をとろうと思った。今からでも、対策やどう行動するのかを考えておく。

いつでも親と一緒にいるわけじゃないから、自分のことは自分で守る。家族と準備してすぐに避難できるように確認しておく。

－ 9 月の予定 － 最終下校 17:00

1日(火) 始業式 避難訓練 質問会 最終下校 10:45

2日(水) 第2回定期テスト 弁当なし 諸活動停止 最終下校 12:15

3日(木) 第2回定期テスト 諸活動停止 給食開始 最終下校 13:10

4日(金) 身体測定

5日(土) PTA 奉仕作業 7:30-8:30 PTA 運営委員会 10:00～

18日(金) 生徒委員会

21日(月) 敬老の日

22日(火) 国民の休日

23日(水) 秋分の日

24日(木) 全校評議会 合唱優先開始

27日(日) 修学旅行1日目(3年)

28日(月) 修学旅行2日目(3年)

教育相談(1・2年)～10月6日まで

29日(火) 修学旅行3日目(3年)

30日(水) 3年生修学旅行代休



学習サポーターの神谷先生が着任しました

7月1日より、本校の授業における学習支援を充実させるため、神谷奈々先生が学習サポーターとして着任しました。神谷先生には、主に数学の授業において少人数指導を中心とした学習支援を担当していただきます。週に1～2回程度授業に入り、一人一人の理解に寄り添いながら学習をサポートしていただく予定です。

< スクールカウンセラー9月の日程について >

9月4日(金) 11日(金) 18日(金) 25日(金)

10:00～16:00 北棟1階相談室